

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ご利用者の小さな声も聞き逃さず優しい心と笑顔で寄り添い、ご高齢者が安心して穏やかに一日を過ごしていただけるような理念を作り上げている。	○	ご家族や住み慣れた地域の方々と交流を持ちながら、ご利用者の思いや希望を受け止め心豊かで尊厳のある生活を支援できるような理念を考えて行きたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念やグループホームの理念を事務室に掲示し、毎日、朝礼時唱和し日々努力している。又理念を玄関に掲示し多くの方に見ていただくと共に、理解していただけるよう心がけている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	年6回の運営推進会議開催やご家族参加行事を企画し交流の場を設けている。又、自治会を通し理解を得るようにしている。	○	運営推進会議録や毎月のいしばし通信を通し、行事やご利用者の状況など伝えているが今後も継続し理解を深めていただけるよう努めて行きたい。地域に対しても広報活動を広げて行きたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご近所の方と気軽に声掛け合い、散歩に出た時は庭の散策を楽しませていただいている。行事のある時はお誘いし、来ていただいている。	○	可能な限り行動範囲を広げながら近所の方と交流を図って行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、クリーン作戦や神輿、廃品回収などに協力をしている。市主催の文化祭や小学校、子供育成会の行事に参加し地元の方との交流に努めている。	○	ボランティアの方や地域の方とのコミュニケーションを図って行きたい。地域活動にも極力参加して行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	機会があれば積極的に出かけて行き、地域の方々にグループホームへの理解を得ながら役立って行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	全職員が周知し評価を活かし内部研修や運営推進会議を通し改善に取り組みたい。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	ご利用者の参加も検討し意見を述べてもらい、サービスの質の向上に繋げたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	相談、指導を仰いでいきたい。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	研修などに参加して理解を深めて行きたい
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に重要事項説明書に元づき説明し、理解と納得を図り同意を得ている。入居申し込みの際にも相談にのり、ご利用者やご家族様の不安や悩みなどお聞きし説明している。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年1回のご利用者、ご家族様へのアンケートを実施、意見や満足度、苦情などの把握に努め、いただいたご意見を大切に受け止めている。又、ご家族参加のカンファレンス、面会時など気軽に話し合える雰囲気作りに努めている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1回、毎日の暮らしを生活の一コマとして個々に報告している。通信では次月の行事予定、職員紹介など報告し預かり金の収支については、半期ごとに報告し確認をいただいている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情窓口を設置している。ケアプラン作成時、モニタリング時、又面会の際にいつでもご意見を伺う雰囲気作りに心がけ運営に反映させる努力をしている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者会議、接遇改善委員会、職員会議で職員の困りごと、意見や提案を参考にしながら実施している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>ご利用者の状態、行事やご家族の要望など、通常の勤務体制では不都合が生じる場合は、随時勤務調整し職員の確保に努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は極力控えているが、代わる場合はご利用者に精神的負担がかからないよう説明などに配慮している。離職願いが出た場合はよく話し合いを行っている。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人には新人業務マニュアルに添って対応している。職員各種研修、県実践リーダー研修、管理者研修を受講する機会を与えている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者との初の試みとして、職員が他施設見学できる機会を設け実施している。</p>	<p>○</p> <p>同業者である施設からの見学希望があった場合は状況に応じそれを受け入れ交流を図って行きたい。意見交換の中から自らを振り返り、サービスの質の向上に努めたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間がきちんと取れるように配慮している。個々に話を聴いたり、親睦会や忘年会などでコミュニケーションを図りストレスの軽減に努めている。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>資格、特技、趣味を活かし各委員会活動やリハビリ、レクリエーションなどで活動してもらっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込み相談を受けてから随時、状況の把握や意志の確認を行っている。居宅ケアマネージャーからの情報提供の協力をいただいている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	随時連絡を取り相談を受けている。入居までの利用施設などのアドバイスや家族、親族などの見学の要望に応じている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	支援の内容を見極め、他施設の情報提供やサービスの種別のアドバイスを行っている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	自宅へ訪問し面接を行い、ご家族やご本人の意思や要望の確認、実際の生活の様子を伺い、施設の方針など理解していただく機会を持っている。要望によっては1日体験や宿泊体験をいただいている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、ご利用者の生活体験を伺うことにより歩んでこられた人生を知り、生活史を大切にしている。又長年はぐくまれた経験から教をいただいていることも多い。職員の体験談をお話したり話題になっているニュースについて話し合う機会を持っている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族面会時、生活の様子など積極的にお話しさせていただいている。お茶のおもてなしなどでご家族がゆっくりとくつろげるような配慮をしている。アルバムなどで普段の表情を見ていただいている。いしばし通信や生活の一コマを送付することで離れて暮らしていても臨場感を持っていただけるようにしている。	<input checked="" type="radio"/>	
29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族が気軽に面会に来られるような温かい雰囲気作りに努めている。家族参加型の行事を企画し職員と家族が協働して支えられるような体制を工夫している。	<input type="radio"/>	全員の家族に参加していただけるような支援をして行きたい。
30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	体調に応じ、外出や面会の制限を作らず、いつでも対応できる姿勢でいる。希望があれば施設と一緒に食事をしていただくこともある。ケアプランの中にも家族が協力できる部分を組み入れ、ドライブや散歩に出かけることで家族間での触れ合う時間を大切にしている。	<input type="radio"/>	
31 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個々の性格や精神の状況を把握し、トラブルが起きないよう座席の配慮や距離を置くことで回避している。職員が話題を提供することでそれぞれがお話する機会を持ち、交流が出来るよう配慮している。料理や趣味の作業を通し、利用者間での交流の機会も増えるようにしている。	<input type="radio"/>	
32 サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設への住み替えがあっても、面会の訪れる機会をもうけている。又、悩み事相談なども受けている。	<input type="radio"/>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	それぞれの活動動線が異なる為、ベッドやたんすの配置などご本人の意向に合わせている。必要に応じ模様替えを行っている。テーブルや椅子の持込により居心地の良い空間作りを行っている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートやご本人からの聞き取りになどで情報の収集を行っている。経過記録に記入することで職員間での情報の共有に繋がっている。ご家族とのカンファレンスでも随時情報の収集に努め追加している。	○ 追加で得られた情報も全職員に伝わるようにする。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の生活スタイルを尊重しながら、孤立しないよう声をかけ交流を持つ機会を作っている。状況によっては強制はせず本人の意思を大切にしている。情緒不安定期には24時間シートの記入により原因の追究に役立っている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ミーティング記録やひやりハット報告書などから課題を話し合い随時ケアに反映する。計画作成時にはご本人、ご家族、担当者で話し合いで介護計画を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月に1回の見直しを行っている。現状とずれている場合もある。随時ケアの見直しを行っているが計画書の変更までいたっていないケースもある。	○ 状況に応じた介護計画書の作成を進める。変化があった場合は随時、計画書変更を行う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の経過記録、温度板、生活パターンシートの活用により日々の生活の様子が明確にわかる。職員間の情報の共有に役立っている。	○	介護計画への見直しにつなげているが、記録の書式の整備に努めていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	開所して2年目であり現在は長期入所のみ。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	各種ボランティア、地域民生委員、民生委員高齢福祉部会の皆様の協力を頂いている。地域担当交番の訪問があり、入居状況など報告をしている。消防署との連携をお願いしている。地元小、中学校との交流や運動会、祖父母ふれあい活動へ参加させていただいている。	○	地域での行事には参加できるようにしていきたい
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在の所、ご利用者の希望はなく行っていない。	○	今後に備え、情報の収集を行って行きたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に出席していただき情報の交換を行い、関わりのあるご入居様の様子など随時観ていただいている。ご家族の希望により「あすてらす」を利用して金銭管理をお願いしている。	○	要支援2で入居されている方への在宅復帰に向けての支援を包括支援センターと協働して進めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>重度化したらすぐに住み替えを勧めるのではなく、健康上支障がない場合はできる限り支援する方向で行きたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>ご家族との話し合いは、相互に納得するまで十分に話し合いを行い、安心して最期を看取れるよう支援して行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	住み替えを勧める場合は、本人に馴染みがある場 所、家族も訪問しやすい環境であることなどの条 件を満たしているかを確認する。相手施設担当者 との話し合いの場を設け情報の提供を行う。当施 設に入居される場合にも事前の見学や情報の提供 を詳細に行なっている。施設利用中の場合は担当 職員から情報をいただいている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	接遇改善委員会で決定される毎月の目標を朝礼時 に唱和し意識向上を図り評価を行っている。法人 のモットーである「敬う心と優しい心」を念頭に 日々丁寧な言葉で接している。個人記録は介護員 室で保管している。	○	丁寧な言葉、おもてなしの心で対応していく。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	利用者の立場に立ち、日々の会話の中でもゆっく り傾聴し、わかりやすく説明を行っている。会話 を多く持ち、本人らしく暮らして頂ける様支援し ている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	食事時間などは日課となっていますが、状態に合 わせ時間をずらしたり、好みでない料理の変更。 夜間のテレビ鑑賞と一人一人のペースや希望に 添った支援をしている。	○	本人の希望に合わせた生活を支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで けるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	季節に合わせた服装を選び、（色あわせ、柄選 び）外出は事前に声をかけ服選びや薄化粧を勧め る。美容院は本人の希望で早々に予定を入れる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	特定の利用者に限られることなく全利用者の方に戸外での支援をしていきたい。
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵はかけていない。又居室からテラスへの出入りも自由となっている。玄関は電子錠になっており職員とともに出入りをしている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ホールでは利用者が安全に過ごせるよう常に見守りをするようにしている。居室で過ごされる事が多い方にはプライバシーに配慮しつつ安全の確認を行っている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご家族やご本人、職員の判断を含め相談しながら薬、洗剤、刃物、針、などの管理を工夫している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者リストを作成し特徴や顔写真がすぐわかるように備えている。ひやりハット、事故報告書の回覧、日々のミーティング記録を活用し、全職員が周知徹底し情報の共有を行っている。各研修会に参加し学んだことを施設内において研修委員会と協力の上、内部研修を行い知識、技術の向上に努めている。	○	地域の方とSOSネットワークが作れば良いと思っている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急連絡マニュアルを作成し周知すると共に、すぐに関覧できるように配置されている。	○	内部研修に組み入れていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災については定期的に避難訓練を行っている。	○	地震や水害については今後の課題となっている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	起こりうるリスクについてご家族に説明し早い段階での話し合いを行い対応にあたっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常にご利用者の状態の観察を行い早期異状発見に努めている。毎日、バイタルチェックを記録している。状態変化時にもバイタルチェックを行い経過観察を記録する。随時主治医やご家族への報告を行う。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋一覧表を作成しておりいつでも見られるようにしてある。処方内容に変化があった場合は連絡ノートや朝、夕の申し送り時に職員同志が正確に情報の伝達を行い、様子観察をする。又経過を報告する。	○	服薬は複数の職員が確認し誤配の予防に努めている。内服時の確認を怠らない。今後も事故防止に努めていきたい。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、牛乳、ヤクルトなどを摂取していただく。又、下肢筋力の強化運動、リハビリ体操、散策なども行っている。	○	食事内容の部分では、食物繊維の多い食品を取り入れている。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	見守りを基本とし必要に応じて支援をしている。洗剤の活用で消毒を行っている。	○	見守りを基本とし、歯磨き、歯茎のマッサージ、を行っている。義歯ケースやカップの洗浄も行っている。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各自の摂取量を把握する。水分制限のある方や水分不足になりがちな方への支援に注意をしている。食事摂取量のチェックを毎食行って記録している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対策マニュアルを作成している。うがいや手洗いの徹底に努めている。居室や棟内の換気は清掃時、昼食の後に必ず行っている。加湿器の設置で湿度の確保とハセッパ―水の噴霧で感染症予防に役立っている。インフルエンザの予防接種はご利用者、職員共に行っている。	○	新型インフルエンザ対策として、本人はもとより、家族に感染者を出した場合にも5日間の自宅待機を課す。ノロウイルス発生時の対応としてノロパンチボックスを常時準備している。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防として布巾、まな板、の除菌漂白消毒を定期的実施している。冷蔵庫、食器棚の整理整頓を行い、肉、魚の解凍は冷蔵庫内またはレンジでの対応とする。常温解凍は避ける。新鮮で安全な食材の管理に努める。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設周囲の整理整頓に気を配り玄関前には四季折々の花々を蔓で編んだ籠などに生け込み、心とんでいただき、季節感を感じていただく。玄関前と駐車場にはベンチを配置し安全に戸外での日光浴やリハビリ体操が行えるよう配慮している。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、ホールには季節の花々はもちろんのこと毎月の行事にあわせた装飾を施し、ご利用者の作品の展示も行っている。キッチン。トイレの窓にはカフェカーテンを施し観葉植物を配置し視覚的に優しい雰囲気を作っている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはテレビ、ソファの横には本棚、中央には花びらテーブルを配し、ご利用者がそれぞれの場所でくつろぎながらすごしていただけるようにしている。玄関脇にある談話室では外を眺めながら会話が楽しめる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・全職員が接遇の大切さを自覚し、トータルで良質なケアサービス、笑顔が絶えない明るく温かいホームをめざし努力し実践している。
- ・ご家族参加の行事企画やいしばし通信 生活の一コマを送付し離れていても身近に感じていただけるように工夫している。ご家族への安心感と信頼関係を構築しご利用者の現状に即した介護計画に基づくサービスの提供を行っている。
- ・リハビリの充実を図り個別活動の取り組みにより、満足感、達成感を持っていただけるような支援に努めており、生活の意欲向上やADLの低下予防に繋がっている。
- ・定期的な運営推進会議の開催、地域行事への参加を通しグループホームへの理解を深めている。